

令和元年度西宮市子供読書活動関係事業一覧表

1 家庭における取り組み

	事業名	事業内容	対 象	関係部局・団体	取り組み内容	進捗状況・評価等
1	蔵書の充実・ブックリストの配布	各施設が、蔵書の充実に努めるとともに、「読んでごらんおもしろいよ」(幼児版)や「絵本のゆりかご」、「絵本のポケット」などのブックリストを作成し、絵本の紹介を行う。	乳幼児	保育所	・保育所だよりや掲示等で、年齢に応じた絵本の紹介等をする。 ・「読んでごらんおもしろいよ」を幼児クラスに配布	・各保育所で実施
				幼稚園	・「読んでごらんおもしろいよ」(幼児版)の配布 ・ブックリストに掲載されている絵本の購入	・「読んでごらんおもしろいよ」(幼児版)の配布 ・ブックリストに掲載されている絵本の購入
				子育て総合センター	・「絵本のゆりかご」「絵本のポケット」の配布	・親子サロンに「絵本のゆりかご」「絵本のポケット」を設置・配布
				市立図書館	・図書館振興基金を活用して蔵書の充実を図る。 ・ブックリスト配布 「絵本のゆりかご」(0歳児～) 「絵本のポケット」(乳幼児向け) 「読んでごらんおもしろいよ」(幼児版)」	・図書館振興基金を活用して、絵本、大型絵本、紙芝居を購入 ・ブックリスト配布 「読んでごらんおもしろいよ(幼児版)」: 16,000部(市内幼稚園、保育園に配布) 「絵本のゆりかご」(0歳児～)、 「絵本のポケット」(乳幼児向け): 各図書館・分室に設置・配布
				児童館・児童センター	—	—
2	絵本の貸出	各施設が絵本の貸出を行い、家庭で本を通じて親子がふれあい、読書を楽しむ時間を持つことができるようにする。	乳幼児	保育所	・絵本の貸出	・新型コロナウイルス感染症対策のため、期間・対象年齢を縮小するなど考慮して実施
				幼稚園	・週1～2冊ずつ絵本の貸出 ・長期休業日前は貸出冊数を増冊	・週1～2冊ずつ絵本の貸出 ・長期休業日前は貸出冊数を増冊
				児童館・児童センター	・移動児童館で絵本の貸出	・移動児童館の活動時、希望者に絵本を貸出
				市立図書館	・ブックフェアの開催 ・汚損した絵本の買替え	・ブックフェア10回 内容事例: 「みんなのすきな本おしえて」、 「こわーい！かわいい？ようかいの本」等 ・買替えは適宜実施
				子育て総合センター	—	—
3	子育て総合センターにおける絵本の読み聞かせ	毎週木曜日に読み聞かせの会を実施する。また、親子サロンスタッフが、個々の親子の状況に合わせて1対1で読み聞かせることの大切さを啓発し、絵本の紹介や読み聞かせを行っている施設などの情報提供を行う。	乳幼児	子育て総合センター	・毎月第1～4木曜日に子育て総合センターにおいて、ボランティアが絵本の読み聞かせを行う。 また、第5木曜日には、親子サロンスタッフが個々の親子の状況に合わせて1対1で読み聞かせることの大切さを啓発し、絵本の紹介や読み聞かせを行っている施設などの情報提供を行う。	・絵本の読み聞かせ会参加人数:824人 ・親子と一緒に絵本や歌を楽しみ、親子での共有体験の機会とすることができた。子供は遊び歌などに合わせて体を動か し、母親もリラックスして楽しんでいた。楽しんで絵本にふれることで、後日自ら絵本室に足を運ぶ親子の姿が見られ、絵本への興味関心につながっている。

	事業名	事業内容	対 象	関係部局・団体	取り組み内容	進捗状況・評価等
4	ブックスタート関連事業	乳児相談でのボランティアによる読み聞かせの実施や、4か月児健康診査時にブックリスト「絵本のゆりかご」の配布による絵本の紹介を行い、家庭で親子がふれあい絵本に親しむきっかけとする。また、一緒に来た兄弟姉妹に対しても読書活動を促す機会とする。	乳幼児	市立図書館 地域保健課	・4か月児健康診査時に「絵本のゆりかご」を配布する。 ・乳児相談会場(中央・北口保健センター)において、ボランティアが読み聞かせを行う。 ・令和2年度から乳児相談会場が子育てひろば会場へ変更になるため、ボランティアが行う読み聞かせ(おはなし会)について検討する。	・4か月児健康診査受診者3,517名に「絵本のゆりかご」を配布 ・乳児相談会場(マザークラス)での読み聞かせ: 中央保健福祉センター4回、北口保健福祉センター10回 参加人数176名(子供の人数) ・乳児相談会場におけるおはなし会開催回数: 中央・北口保健福祉センター各6回、参加人数: 261人(子供135人、大人126人) ・令和2年度からの「おはなし会」については検討中
5	体験保育	親子が保育所で一緒に遊びながら絵本を楽しみ、子育て相談などを通じて、家庭でも絵本に親しめるようにする。	乳幼児	保育所	・絵本の読み聞かせを行う。 ・年齢に応じた絵本の選び方等を伝える。 ・保育所だよりの作成	・各保育所で実施
6	広報紙の発行	保育所だよりや幼稚園だより、市立図書館の児童向け広報紙「しゃぼん玉」など、各施設で広報紙やちらしを発行し、情報発信に努める。	乳幼児	保育所	・保育所だよりの作成、配布	・おたより配布により子供の年齢や興味にあった絵本を紹介し、啓発に努めた。
				幼稚園	・園だより、クラスだより、絵本だよりを発行し、絵本の紹介を行う。 ・図書館広報紙「しゃぼん玉」などの掲示	・園だより、クラスだより、絵本だよりを発行し、絵本を紹介 ・図書館広報紙「しゃぼん玉」などの掲示
				子育て総合センター	・子育てカレンダー(読み聞かせイベントなど)の発行	・子育てカレンダーの発行 12回 計42,242部 ・関係各課、市内保育所、幼稚園、病院、子育て地域サロン等に配布
				市立図書館	・広報紙等の作成・配布「しゃぼん玉」(児童向け広報紙)おはなし会チラシ行事チラシ	・広報紙等の発行部数「しゃぼん玉」6,180部(@515部×12月) ・おはなし会及び行事チラシ: 市内図書館・分室に設置、近隣の小学校等に配布
				児童館・児童センター	—	—
7	保護者になる人への絵本の読み聞かせ	保護者になる人に対して、妊娠期から絵本の読み聞かせを行う。親子のふれあいや赤ちゃん・妊婦に適した絵本の紹介、読み聞かせの実演などを通して、子供とのコミュニケーションの大切さなどを伝える。	家庭など	社会教育課 地域保健課	・マザークラスの妊婦に対して、絵本の読み聞かせの実演を行い、親子のふれあいや赤ちゃん・妊婦に絵本の紹介	・参加人数: 275人(全16回) ・満足度: 98.9%

	事業名	事業内容	対 象	関係部局・団体	取り組み内容	進捗状況・評価等
8	読書習慣のない家庭の読書活動	本に興味がない、又は、読書に時間を割けない家庭への働きかけや読書の習慣化の方策などについて検討する。	家庭など	学校教育課	・ボランティアによる読み聞かせや親子読書会などを実施し、読書活動を支援する。	・各校において、ボランティアにより読み聞かせの実施
				特別支援教育課		
				保育所事業課	・窓口にポスターを掲示する。	・窓口にポスターを掲示し情報発信に努めた。
				地域保健課	・乳幼児健康診査の待合場所での絵本の設置	・乳幼児健康診査の待合場所での絵本の設置を行っていたが、年度末にはコロナの感染拡大防止のため、設置を取りやめた。
				市立図書館	・関係機関と連携して、図書の管理換えや読み聞かせなどを通じ本に親しむ機会を提供する。	・「フラワーフェスティバルin西宮」に参加 おはなしボランティア13人派遣、読み聞かせ4回実施
				社会教育課 教育研修課 子育て総合センター	—	—
9	広報活動	家庭教育ニュースレター「家族の絆」などで本を紹介する。また、その他の広報媒体や広報内容を検討し、積極的に本の紹介を行う。	家庭など	社会教育課	・家庭教育ニュースレター「家族の絆」の発行・配布	・発行回数：年2回（春号、秋号） ・発行部数：66,000部 ・配布場所：市内の小学校、中学校、義務教育学校、特別支援学校、幼稚園、保育所、公民館、図書館など
				学校教育課	・ボランティアによる読み聞かせや親子読書会などの活動をプリントで配布・案内を行う。	・小学生のふれあい読書会パンフレット配布：1,000部
				特別支援教育課		
				地域保健課	・4か月児健康診査で「絵本のゆりかご」を配布 ・各保健福祉センターで「絵本のある子育て」（子どもの本の児童館グループ発行）を設置	・4か月児健康診査受診者3,517名に「絵本のゆりかご」を配布 ・各保健福祉センターで「絵本のある子育て」（子どもの本の児童館グループ発行）を設置し、自由に持ち帰ってもらった。
				市立図書館	・各種広報紙の発行 「しゃぼん玉」、「YA通信」 ・「家族の絆」への寄稿 ・さくらFMでの告知 ・地域コミュニティ誌への掲載	・しゃぼん玉：年12回発行 ・YA通信：年6回発行 ・家族の絆への寄稿：2回 ・さくらFM：2回 ・まみたん：年12回おはなし会案内を掲載 ・ともも：年4回鳴尾図書館行事案内を掲載
				教育研修課 保育所事業課 子育て総合センター	—	—

2 学校園・保育所等における取り組み

	事業名	事業内容	対 象	関係部局・団体	取り組み内容	進捗状況・評価等
1	学校園・保育所等における読み聞かせ	教諭、保育士、保護者、ボランティア等が教室・保育室などで読み聞かせを行う。	乳幼児 小中学生	保育所	・保育士等が保育時間内において、日常的に読み聞かせを行う。	・日常的に実施し、絵本に親しむ場とした。
				幼稚園	・教科指導等相談事業(学校図書館活動等)より講師を派遣し、幼児児童生徒を対象に読み聞かせ等を行う。 ・小・中学校では、学校司書による読み聞かせを行う。	・各校、学校司書による読み聞かせの実施 ・教科指導等相談事業(学校図書館活動等)による講師派遣:13回
				小中学校		
				特別支援学校		
				市立図書館	・学校司書、学校図書館ボランティア対象の読み聞かせ講座の開催	・学校司書、学校図書館ボランティア対象読み聞かせ講座:5回
2	「読んでごらんおもしろいよ」の配布	ブックリスト「読んでごらんおもしろいよ」を学校と市立図書館が連携して作成し、幼児及び児童・生徒の読書の手引きとして活用する。	乳幼児 小中学生	幼稚園	・「読んでごらんおもしろいよ」の配布 ・小・中・西宮養護学校では、学校図書館で選定図書の展示を行う。	・「読んでごらんおもしろいよ」配布:46,000部 ・各学校図書館で選定図書展示 ・中央図書館で選定図書展示
				小中学校		
				特別支援学校		
				市立図書館	・「読んでごらんおもしろいよ」の配布 ・図書館で選定図書の展示を行う。	
3	学習指導要領に基づいた読書教育	各校の学校図書館運営計画を作成し、「いずみ」に掲載して取り組み内容の情報共有を図る。	小中学生	小中学校	・学校図書館経営計画の作成	・学校図書館経営計画を作成し提出
				特別支援学校		
				学校教育課	・各校から提出された「学校図書館経営計画」をいずみに掲載	・「いずみ」に掲載済
4	外国語教育	小学校での英語教育が教科化されることから、英語で書かれた図書の整備に努める。	小中学生	小中学校	・英語で書かれた絵本や物語を整備	・英語で書かれた絵本や物語など、各校の実態に応じて整備
				特別支援学校		
				学校教育課		

	事業名	事業内容	対 象	関係部局・団体	取り組み内容	進捗状況・評価等
5	学校図書館機能の充実	学校図書館教育担当者(司書教諭等)を中心に、関係者が連携して、学校図書館機能の充実に努める。 また、「西宮市小学校図書館の学習基本図書」や市立図書館作成のブックリストなどを参考に図書の充実を図る。	小中学生	小中学校	・小・中教研(図書館教育研究会)を組織、実践交流や研修会を開催 ・図書館教育担当者会への参加 ・学校図書館ボランティアの活用による開館	・小教研開催回数:8回 ・中教研開催回数:5回 ・図書館教育担当者会への参加(会場:若竹生活文化会館)
				特別支援学校		
				学校教育課	・小・中教研への参加 ・図書館教育担当者や学校司書研修会の開催	・小・中教研への参加 ・図書館教育担当者会の開催(会場:若竹生活文化会館)
				市立図書館	・市立図書館司書が学校図書館を訪問し、司書教諭、学校司書を対象に学校図書館業務(蔵書管理・調べ学習・読書相談等)を支援する。	・学校訪問を実施 鳴尾中:図書委員主催おはなし会参加 平木小:学校図書館の整備支援
				小中学校 特別支援学校 学校教育課 市立図書館	「阪神地区学校図書館研究大会(西宮大会)」の開催及び参加	・「阪神地区学校図書館研究大会(西宮大会)」開催 ・会場:鳴尾小、鳴尾中、鳴尾図書館 ・講演会、公開授業、パネル展示等を実施
6	相互貸借	各校で西宮市学校図書システム(LB@SCHOOL)によるネットワークを活用し、相互貸借することで各校蔵書の有効活用を図る。 また、市立図書館と連携し、テーマに沿ったセット本の公用貸出の利用を進める。	小中学生	小中学校	・学校図書館システム(LB@SCHOOL)により、学校間相互貸借を利用する。 ・市立図書館の公用貸出を利用する。	・学校図書館システム(LB@SCHOOL)により、学校間相互貸借を利用 ・市立図書館の公用貸出の利用
				特別支援学校		
				学校教育課	・学校間の相互貸借一覧表を作成し、配送依頼をする ・公用貸出票の集約、配送車手配による支援	・学校間の相互貸借一覧表を作成し、配送依頼 ・公用貸出票の集約、配送車手配による支援
				市立図書館	・学校司書研修会で市立図書館の公用貸出について説明し、利用促進を図る。	・学校図書館担当教諭・学校司書合同研修会にて、市立図書館の利用について説明 ・公用貸出数:157件、5,015冊
7	読書感想文コンクール等の開催	読書感想文コンクール・読書感想画コンクール・読書会を継続し、本を読むことで養われる感性や、感動を人と共有する機会を提供する。	小中学生	小中学校	・小学校では各学年1点の作品を、中学校では校内の読書感想文コンクールにおいて、代表を各校4点まで選び、市の読書感想文コンクールに出品。 ・読書感想画コンクールでは、読書による感動を絵で表現させる。	【読書感想文コンクール応募総数】 小:42校、251点(課題:22点、自由:229点) 中:20校 76点(課題:23点、自由:53点) 【読書感想画コンクール応募総数】 小:13校、1727点 中:8校、28点
				特別支援学校		
				学校教育課		
8	「読書の達人認定証」の発行	児童の読書意欲を高めるため、読書冊数に応じて認定証を発行する。	小学生	小学校	・各校で35冊、75冊、105冊ごとに認定証を発行	・認定証発行枚数 ・年度当初に委員会から各校に用紙(認定書)を送付し、各校で発行(印刷)

	事業名	事業内容	対 象	関係部局・団体	取り組み内容	進捗状況・評価等
9	特別支援教育に係る図書の充実	学校園において、障害などの理解・啓発に関する図書を充実させる。	小中学生	小中学校	障害などの理解・啓発に関する図書を配備	・各校の状況に応じて障害などの理解・啓発に関する図書を配備
				特別支援学校		
				学校教育課		
				特別支援教育課		
10	障害に応じた設備や資料の充実	障害の状態に応じた合理的配慮が行えるよう設備や読書環境を整えるとともに、障害のある子供に配慮された図書の充実を図る。 また、西宮養護学校の特別支援教育のセンター的機能を充実させ、点字資料やLLブックなど様々な障害に応じた資料を収集し活用方法を発信する。	小中学生	小中学校	・大判の絵本の配備 ・点字資料やLLブックの資料収集 ・車いすが通れるようスロープの設置 ・西宮養護学校では、間口を広く設計	・各校の状況に応じて、大判の絵本や点字資料、LLブックの資料の整備 ・車いすが通れるようスロープの設置 ・西宮養護学校では、間口を広く設計
				特別支援学校		
				特別支援教育課		
11	多様な技法を用いた読書への誘い	市立図書館と連携して、ブックトーク、アニメーション、読書クイズなど、読書の楽しみや喜びを実感できる多様な技法を授業に取り入れ、読書意欲を高める。	小中学生 高校生	小中学校	・市立図書館司書によるブックトーク等を授業に取り入れる。 ・「中学生図書委員の集い」の講師に市立図書館司書を迎え、ワークショップを開催する。 ・「小学生のふれあい読書会」への参観呼びかけ	・市立図書館司書によるブックトーク等を開催 ・中学生図書委員の集い(会場:総合教育センター) ・小学生のふれあい読書会(会場:地区別に市内10か所)
				特別支援学校		
				市立高等学校		
				学校教育課	・子供たちの読書体験を深めるような機会を提供するために、教科指導等相談事業(学校図書館活動等)の実施を支援	・教科指導等相談事業(学校図書館活動等)による講師派遣回数:13回
				市立図書館	・学校の授業におけるブックトークの実施 ・「中学校図書委員のつどい」等に参加し、本の紹介・ワークショップ・POP作りを行う。 ・アニメーション実施の検討	・ブックトーク実施回数:39校 ・小学校図書委員:POP作り、村上春樹コーナー展示への助言 ・中学校図書委員:図書館委員主催のおはなし会出席等 ・アニメーション実施については検討中
12	学校図書館の充実	市立図書館と連携して、学校図書館資料の充実を図る。	高校生	市立高等学校	・市立図書館の公用貸出を利用する。	・市立図書館の公用貸出の利用
				学校教育課	・公用貸出票の集約、配送車手配による支援	・公用貸出票の集約、配送車手配による支援
				市立図書館	・公用貸出により、学校で利用する図書館資料の充実を図る。	・公用貸出6回、計97冊

	事業名	事業内容	対 象	関係部局・団体	取り組み内容	進捗状況・評価等
13	チャレンジ研修 専門課題研修	幼児教育、小学校関係者を対象とした読書活動に係る研修会を開催する。	保育所・幼稚園・認定こども園・小学校・特別支援学校の教職員、児童館・地域型保育施設職員等	子育て総合センター	・講師を招聘し、絵本の良さと読み聞かせ、絵本との出会いによる子供の育ち等についての研修を開催	・参加人数：43人 ・研修内容：絵本の読み聞かせの魅力を理論や実践を交えながら講師より学ぶ。
				学校教育課	・学校司書研修会の開催 ・図書館教育担当者会の開催	・学校図書館担当者会兼学校司書研修会(会場：若竹生活文化会館) ・学校司書研修会(会場：鳴尾中学校図書館)

3 地域(市立図書館等)における取り組み

	事業名	事業内容	対 象	関係部局・団体	取り組み内容	進捗状況・評価等
1	市立図書館等における絵本の読み聞かせ	市立図書館、児童館等で読み聞かせなどを行い、地域で絵本に親しむ機会を作る。	乳幼児	市立図書館	・市立図書館・分室において、定例のおはなし会と季節に応じたおはなし会を開催する。 ・おはなしボランティアを派遣し、関係機関における行事等(おはなし会)の開催を支援する。	・おはなし会の開催 中央・鳴尾・北部・北口図書館、山口分室 開催回数：510回、参加人数：6,993人 ・図書館外おはなし会 開催回数：120回、参加人数：1,913人
				児童館・児童センター	・ボランティアによる絵本の読み聞かせを実施	・市内の児童館・児童センター(9カ所)で実施 開催回数：131回 参加人数：1,912人
2	「読んでごらんおもしろいよ」の配布(再掲)	(再掲)	乳幼児 小中学生	市立図書館	(再掲)	(再掲)
				幼稚園		
				小中学校		
				特別支援学校		
3	課題解決のための支援	調べる学習講座や利用講座の開催、資料の充実により、課題解決の支援を行う。	小中学生	市立図書館	・図書館を使った調べる学習講座を開催する。 ・図書館の利用講座を開催する。	・図書館を使った調べる学習講座(計9回) 会場：中央図書館 参加数：18人 ・子供向け認知症サポーター講座「みんなで学ぼう認知症ってなあに」 会場：北部図書館 参加数：7人
4	読書履歴の作成	小学生以下の子供も、市立図書館ホームページ内に読書履歴を記録できるシステムを整備する。	小中学生	市立図書館	・平成31年4月から、小学生以下の子供の読書履歴を記録できるようにパスワードの発行を開始。	・パスワード発行者数 小学生(7～12歳)：1,704件 中学生(13～15歳)：394件
5	外国語資料などの充実	外国語で書かれた絵本や多読資料の収集に努める。 また、来日した外国人が日本語を学ぶための資料の収集にも努める。	小中学生	市立図書館	・多言語の絵本の購入 ・外国人が日本語を学ぶための資料の購入	・英語、中国語、韓国語等の絵本を購入：70冊 ・外国人が日本語を学ぶための資料購入は検討中

	事業名	事業内容	対 象	関係部局・団体	取り組み内容	進捗状況・評価等
6	団体貸出	団体利用を促進して本の貸出を行い、子育て関連機関などの読書環境を充実させる。	小中学生	市立図書館	・子育て関連施設の団体登録を促進し、団体貸出を増やす。	・R1年度末登録数：26件（前年度比+7件）
7	放課後等デイサービスにおける読み聞かせ	放課後等デイサービスにおいて、市立図書館司書やボランティアによる読み聞かせを行う。	小中学生	市立図書館	・放課後等デイサービスの訪問	・2か所、計12回訪問
8	「あすなろ学級（なるおきた・みらい）」との連携	市立図書館司書が「あすなろ学級」を訪問して、本の紹介等を行う。また、図書館見学や本の修理などの活動を通して、本に親しむ機会を提供する。	小中学生	学校保健安全課	※適応指導教室は令和元年10月より「あすなろ学級みらい」「あすなろ学級なるおきた」に再編・拡充 （なるおきた） ・毎朝15分間読書タイムを実施 ・図書の貸出 ・市立図書館で本の修理等のボランティア活動を行う。	・毎朝15分間の読書タイムを実施 ・読書タイムでの図書の貸出を行った。 ・在籍人数の関係により、市立図書館でのボランティア活動は行っていない。
				地域・学校支援課	（みらい） ・市立図書館と連携して市民から寄贈された本などを活用し、読書環境の整備を行う。	・読書の機会を増やすために本の冊数を増やした。 ・本が子供たちの目に触れやすくなった。
				市立図書館	・図書館見学 ・読書相談など（生徒、教諭） ・寄贈本、除籍本の提供	・新型コロナウイルス感染症の影響により、図書館見学、読書相談、寄贈本、除籍本の提供を中止
9	障害のある子供への読書活動支援	点字資料やLLブックなど様々な障害に応じた資料の収集に努める。 また、西宮養護学校などで、市立図書館司書が読み聞かせを行う。	小中学生	市立図書館	・点訳絵本の作成 ・西宮養護学校訪問 ・特支学校・特支学級教諭等の相談・支援	・点訳ボランティアによる絵本の作成：8冊 ・特支学校・特支学級へのおはなし会支援：3件 ・訪問は、新型コロナウイルス感染症の影響により中止
				小中学校	（西宮養護学校） ・特別支援教育センター的機能充実のため、図書整備費の追加配当	（西宮養護学校） ・特別支援教育センター的機能充実のため、図書整備費の追加配当
				特別支援学校	・点字資料やLLブックなど様々な障害に応じた資料の収集と活用法の発信	・点字資料やLLブックなど様々な障害に応じた資料の収集と活用法の発信
				特別支援教育課	・移転で図書館が狭くなったため、廊下にも本棚を並べ、使用可能にしている。	・新校舎では、廊下にも本棚を並べ、使用可能にした。
10	公用貸出	学校への貸出用に、調べ学習などのテーマに沿った蔵書を充実させ、授業を支援する。 また、配送車の配備など、効率的な活用に向けた研究を行う。	小中学生	市立図書館	・教科書改訂等を考慮し、新規購入・汚損本の買替等を行う。 ・公用貸出の借出・返却の負担を軽減するための配送方法について研究する。	・教科書改訂に係る図書購入については、令和2年度に買替等を検討する。 ・公用貸出の配送方法については継続して検討する。
				小中学校	・市立図書館の公用貸出を利用する。	・市立図書館の公用貸出の利用
				特別支援学校		
				学校教育課	・公用貸出票の集約、配送車手配による支援	・公用貸出票の集約、配送車手配による支援

	事業名	事業内容	対 象	関係部局・団体	取り組み内容	進捗状況・評価等
11	学校図書館の支援	学校図書館に市立図書館司書を派遣して、蔵書・配架・除籍などの助言やブックトークなどを行い、学校図書館運営を支援する。	小中高校生	市立図書館	・市立図書館司書が学校図書館を訪問し、学校図書館業務(蔵書管理・調べ学習・読書相談等)を支援する。 また、ブックトークなどによる授業支援を行う。	・学校への訪問回数:36回 ・主な実施内容 修理講習、蔵書相談、図書委員との交流、ブックトーク、管理換資料等の提供
				小中学校		
				特別支援学校		
				市立高等学校		
				学校教育課	・学校司書の配置 ・学校図書館教育担当者の開催 ・学校司書研修会の開催	・市内全小・中・養護学校に41名の学校司書を配置 ・学校図書館担当者兼学校司書研修会(会場:若竹生活文化会館) ・学校司書研修会(会場:鳴尾中学校図書館)
12	多様な技法を用いた読書への誘い	ブックトークやビブリオバトルなど、読書の楽しみを実感できる多様な技法を図書館行事などに取り入れ、読書への興味を引出す。 また、絵本や文芸作品などの創作活動についての啓発を行う。	高校生	市立図書館	・ビブリオバトルの開催	・ビブリオバトル:3回、96人
				市立高等学校	・専任の学校司書を配置	・専任の学校司書を配置
13	子供読書活動推進のための拠点づくり	本市の子供読書活動の拠点として、市立図書館の児童書や児童コーナーの充実を図る。また、地域での子供読書活動の拠点の在り方についても研究する。	その他	市立図書館	・図書館の先進市の取り組みを視察・研究し、情報収集に努める。 ・西宮浜地域における学校図書館活用の研究	・図書館先進市視察 豊中市、大阪市、塩尻市・新宿区・武蔵野市、狛江市・横浜市・東京都立多摩
14	社会教育関係団体などとの連携	地域の社会教育関係団体(PTA・青少年愛護協議会・子ども会など)などと連携して、読書活動につながる行事を開催する。	その他	市立図書館	・「なるおとしょかん子ども夏祭り」の実施 鳴尾図書館行事ボランティア、近隣校PTAボランティアとの連携行事 ・学校PTA対象の修理講習会の開催	・「なるおとしょかん子ども夏祭り」参加者数:1,091人 ・修理講習会:17回
15	職員の研修	市立図書館司書などの資質向上のための研修の実施や情報共有に努める。	その他	市立図書館	・図書館職員研修 ・阪神地区図書館協議会研修	・図書館職員研修: 新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止

	事業名	事業内容	対 象	関係部局・団体	取り組み内容	進捗状況・評価等
16	ボランティアの育成	市立図書館及び学校図書館のボランティアを育成するために、研修や活動環境の整備を行う。	その他	市立図書館	・ティーンズボランティア活動の実施 ・学校図書館ボランティア対象講座の開催 ・おはなしボランティア研修会の実施 ・ボランティア活動状況の把握 ・先進市等の視察・研究	・「夏のティーンズボランティア」実施 ・学校図書館ボランティア対象講座：修理講習17回、読み聞かせ5回 ・おはなしボランティア研修会実施：3回 ・先進市等の視察・研究を実施(再掲)
				小中学校	・令和元年度の学校図書館ボランティアを組織し、学校図書館運営の充実を図る。	・各校の実態に応じて学校図書館ボランティアを組織 ・市内全小中学校でボランティアを活用
				特別支援学校		
				学校教育課	—	—